

No. 82

6月定例会
(5月臨時会)

令和7年8月22日発行

やまなし

市議会 だより

歳入歳出予算にそれぞれ11億1,703万円余を追加し、総額を歳入歳出それぞれ263億1,503万2千円とする一般会計補正予算など15案件を可決しました。

目次

定例会の概要	2
議案等審議結果	3
議会構成・就任あいさつ	4
代表質問	5～6
一般質問	7～12上
議員表彰	12下
委員会報告	13～15
議会活動目誌・編集後記	16

第66回笛吹川県下納涼花火大会

市制施行20周年を記念して、通常より約2,000発多い、約5,000発の花火が夏の夜空を彩りました。

6月定例会の概要

市長から提案された条例改正、令和7年度一般会計補正予算などの審議を行いました。

議案第58号

令和7年度山梨市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算にそれぞれ11億1,703万円余を追加し、総額を歳入歳出それぞれ263億1,503万2千円にするものです。

【主なもの】

(総務費)

・ふるさと納税先行受付返礼品発送経費(8億8,253万円余)
・定額減税不足額給付事業(2億578万円余)

・大学等と地域が連携して取り組む地域課題解決に向けたプロジェクトのふるさとミライカレッジモデル実証事業(658万円余)

・区放送公会堂整備事業(140万円)

・桜プロジェクト推進事業(100万円)

(民生費)

・障害福祉サービスにおける就労選択支援創設に伴うシステム改修費(112万2千円)

(農林水産業費)

・認定新規就農者に対する経営発展支援事業(1,584万円)

高木市長の所信表明(6月定例会)

おもな事業の報告

● 峡東地域世界農業遺産フェスティバルの開催について

峡東3市の果樹農業システムが、世界農業遺産に認定されてから、本年7月18日で3周年を迎えることとなり、世界農業遺産に認定されたことを記念するフェスティバルを9月7日に「笛吹川フルーツ公園」において開催します。

これらのイベントを通して、峡東地域が世界農業遺産であることを積極的にPRし、峡東地域のブランド力を高め、基幹産業である農業を大きく発展させていきます。

● 日本カーボン(株)山梨工場跡地の活用検討について

本市の玄関口となるJR山梨市駅南側に位置する約26,900㎡もの広大な跡地活用に向けた検討に関しては、有識者等で構成する庁外検討委員会と、庁内検討委員会を設置

し、現在、本市の百年の大計に沿った取組みとなるよう、検討を進めています。

市では、若者の意見も活用策の参考にするため、本市の中・高・専門・短大7校、各2名、合計14名からなる分科会を設置し、1年間を通して意見交換する機会を設けることとしました。

5月24日には、第1回目となる分科会を、山梨青年会議所のメンバー、学生を合わせ、数十人により開催し、若者らしい斬新な考えから提案されたものや、何より、郷土を愛し、真剣に「山梨市」の将来を考える姿を目にし、改めて本市の子ども達の頼もしさを感じたところです。

今後、テーマを絞った意見交換会となる分科会を数回開催し、年度末までには活用案をとりまとめ、提案していただく予定です。

令和7年5月臨時会及び6月定例会議案等審議結果

5月臨時会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対 棄：棄権 /：欠席）

議案 番号	議案 件名	議員名																審議 結果	
		遠山 雄二	天野 有紀	長沼 和人	榎野 雅敏	糠信 平	島村 雅美	清水 和美	星野 洋	矢崎 和也	土屋 裕紀	木内 健司	萩原 弥香	根津 和博	藤巻 豊彦	岩崎 友江	深沢 敏彦		村田 浩
第49号	専決処分の承認を求めることについて（山梨市税条例の一部を改正する条例について）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第50号	専決処分の承認を求めることについて（山梨市都市計画税条例の一部を改正する条例について）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第51号	専決処分の承認を求めることについて（山梨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第52号	山梨市監査委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第53号	山梨市監査委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
諮問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認 定 す る

6月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対 棄：棄権 /：欠席）

議案 番号	議案 件名	議員名																審議 結果	
		遠山 雄二	天野 有紀	長沼 和人	榎野 雅敏	糠信 平	島村 雅美	清水 和美	星野 洋	矢崎 和也	土屋 裕紀	木内 健司	萩原 弥香	根津 和博	藤巻 豊彦	岩崎 友江	深沢 敏彦		村田 浩
第54号	山梨市放課後学童クラブ設置及び管理条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第55号	山梨市立児童センター設置及び管理条例及び山梨市放課後児童健全育成条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第56号	山梨市働く婦人の家設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第57号	山梨市レンタサイクル条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第58号	令和7年度山梨市一般会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第59号	令和7年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第60号	令和7年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第61号	字の区域の変更について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第62号	山梨市道の路線認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第63号	山梨市し尿等処理下水道投入施設プラント機械・電気設備工事（継続）請負契約について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第64号	山梨市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第65号	令和7年度山梨市一般会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第66号	小中学校における1人1台端末（児童生徒用）の購入契約について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第67号	山梨市し尿等処理下水道投入施設整備（その2）工事請負変更契約について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第68号	山梨市教育委員会委員の任命について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
請願 第2号	最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める請願書																		審 議 続 行

新しい議会構成決まる

議長に向山輝氏・副議長に遠山雄二氏

令和7年5月臨時会において、正副議長の選挙が行われ、向山輝議員（牧丘町集）が第19代議長に、遠山雄二議員（大野）が第19代副議長にそれぞれ当選し、就任しました。

なお、各常任委員会、議会運営委員会及び組合議会議員の構成は下表のとおりです。

議会選出の

監査委員に

深沢敏彦 議員

議会選出の監査委員として、深沢敏彦議員（山根）の選任に同意しました。

就任 あいさつ



向山 輝 議長

5月臨時会において、議員各位のご推挙とご賛同による指名推選をいただき、第19代議長に就任しました。
二元代表制の一翼を担い、執行機関と立場の違いを踏まえ、緊張関係を保ちながら、市政運営について調査、監視及び評価を行うとともに、公

平性及び透明性の保持に努め、議員間討議を活発に行うことで、その機能の一層の充実を図っていくことが重要であると考えております。

選挙の際、市民の皆さまから議員定数などに対する意見もありました。可能な限り議論を尽くしていきたいと思っております。

さらに、主権者教育、地域に出ていく議会を目指す、市政報告会などを行う中で、市政発展のため一生懸命取り組んでまいり所存でございます。市民の皆さま、議員の皆さま並びに当局の皆さま方のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



遠山雄二 副議長

5月臨時会において、議員各位のご推挙とご賛同による指名推選をいただき、第19代副議長に就任しました。

議員1人1人が互いに尊重し合い、市民の皆さまからのご意見に対し、誠心誠意任務を果たしてまいり所存でございます。

今後、より一層市民の皆さまに信頼される議会であるため全力を尽くす所存でありますので、ご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長

◆総務常任委員会

- ◎藤巻豊彦 ○岩崎友江
- 清水和美 土屋裕紀
- 木内健司 村田 浩

◆建設経済常任委員会

- ◎星野 洋 ○榎野雅敏
- 糠信 平 島村雅美
- 矢崎和也 深沢敏彦

◆教育民生常任委員会

- ◎根津和博 ○萩原弥香
- 向山 輝 遠山雄二
- 天野有紀 長沼和人

◆議会運営委員会

- ◎村田 浩 ○土屋裕紀
- 清水和美 矢崎和也
- 木内健司 深沢敏彦

◆組合議会議員

- 〈東山梨行政事務組合議会議員〉
- 向山 輝 天野有紀 清水和美
- 矢崎和也 土屋裕紀 根津和博
- 岩崎友江 村田 浩
- 〈峡東地域広域水道企業団議会議員〉
- 遠山雄二 長沼和人
- 島村雅美 藤巻豊彦
- 〈山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員〉
- 萩原弥香
- 〈甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員〉
- 星野 洋 深沢敏彦

会派構成（○は代表者）

つながる未来会	笑顔やまなし	至誠会	新しい風	やまなし未来の会	サンリ・みらい	日本共産党	公明党	新翔会	赤松の会
○天野有紀	○長沼和人	○藤巻豊彦	○根津和博	○岩崎友江	○星野 洋	○糠信 平	○木内健司 萩原弥香	○矢崎和也 土屋裕紀 遠山雄二	○村田 浩 向山 輝 深沢敏彦 榎野雅敏 島村雅美 清水和美

赤松の会

村田 浩 議員



問 クオオナムシティについて

①「クオオナムシティ構想」においては、どのような取り組みを進めようとしているのか。②どのような効果があるのか。

市長 高木晴雄

答 ①クオオナムシティ構想は、量子技術を活用し、ま

ち全体の最適化を実現するとともに、分野を横断した地域課題の解決を図る「未来志向のまちづくり」の実現を目指す構想である。この取り組みは、従来型のデジタル技術と先端技術を組み合わせた「ハイブリッド」による社会全体の課題解決に向けた実証事業を、様々

な角度から行い、地域経済の成長や地域全体における豊かな暮らしの実現を目指す。②今後は、協定に基づき、民間企業などと事業推進を図るとともに、知の拠点となる県内大学とも連携し、量子技術を応用した最先端ソリューションが、本市の課題解決につながるよう進めていく。

問 人事異動の考え方について

適材適所の人事配置を行い、できる限り職員の異動希望に配慮した人事異動を心がけていると承知しているが、違和感を覚えるような人事配置もある。今回の異動の状況を踏まえ、改めて人事異動の考え方について伺う。

市長 高木晴雄

答 人事異動に際しては、毎年12月中旬に異動希望調査を行

い、職員の意見や希望、家庭の状況などを把握し、可能な限り本人の希望も配慮しつつ、人事評価

における能力や業績評価、業務経歴を判断材料とし実施している。人事異動は、組織の効率性を高めるだけでなく、個々の職員の成長やキャリア形成にも大きな役割を果たすため、今後も適材適所の職員配置を通じて、迅速かつ正確な対応を実現し、市民サービスの向上につなげていく。

問 旧三富小学校跡地有効活用事業に係る株式会社みとみむらの撤退について

株式会社みとみむらが、旧三富小学校の活用から撤退したが、この選定に問題はなかったのか。

管財課長 平野宗則

答 令和3年2月に事業者選

定審査委員会を開催し、中小企業診断士をはじめ、地元区長など外部委員と職員で構成した選定委員9名で審査を行った。事業の有効性、将来性、継続性と特に重要視されたのが、地域振興と地域との協同、連携であった。採点結果は、4ポイントという僅差で「日本のチカラ」、現在の「株

式会社みとみむら」が選定された。選定に問題はなかったが、地域から期待されながらも、契約満了日を迎えることなく、撤退となってしまったことを誠に遺憾に思う。

その他の質問

- 指定管理者制度の導入について
- 熱中症対策について
- ふるさと納税返礼品未配送のその後について



▲旧三富小学校跡地の碑



問 アザレアタウン整備事業について

①諸物価高騰の折、事業費の大幅な伸びが考えられるが、事業計画への考え方を伺う。②国の補助金や市の助成金を見直して物価上昇に対応するとの事だが、その対応について具体的に伺う。③移住者へのインセンティブについて、具体策とその対象について伺う。④土地区画整理後の土地利用について、個人所有地の利用方法は地権者に委ねられるとの事だが、宅地と農地が混在するという事にならないのか。

市長 高木晴雄

答 ①事業計画自体に、一定程度の社会情勢の変化は考慮されているが、コスト削減も検

討していく。②事業計画に変更が生じた場合は、組合と協議し適切に対応する。③インセンティブについては、太陽光発電設備以外の施策も含め、今後幅広く検討する。④地権者の意向を確認し、換地設計を進めていくが、宅地と農地が混在することも想定される。

再 ②の「適切に対応」とは何か。

都市計画課長 飯島幹根

答 関係機関と協議しながら、事業主体の取り組みにおいて、必要な手続きを行い補助金・助成金の額の変更を指導していく。

問 旧市役所跡地周辺整備について

①多目的広場へのヘリポートの整備にあたり、設置基準等はクリアしているのか、また、近隣住民への説明についての考え方を伺う。②芝生広場の維持管理経費について伺う。③屋内運動遊び場の事業費について伺う。④併設する子ども屋内遊び場との間の安全対策が不十分だと考えるがいかがか。⑤2月に保育園児と小学生を対

象に行われたワークショップにおいて、参加児童らに2,000円の図書カードが配られたとの事だが、その意図と、配布について問題は無いと考えているのか伺う。子ども・子育て課長 坂本成人

答 ①関係法令等に照らし、離発着に問題は無いと判断している。また、近隣住民については、今後、丁寧な説明を行っていく。②年間、約200万円程度を想定している。③今後、実施設計を行う中で示していく。④安全対策については、想定案に基づき検討している中で、敷地内に全てが収まる配置が望ましいと考え、多目的広場と同一の敷地への配置を検討していく。⑤図書カードは、ワークショップに参加してくれた事への感謝の気持ちであり、公益的な事業目的を達成する為に行ったもので問題ないと認識している。

再 ②屋内運動遊び場を多目的広場への整備を検討する事となった経緯を伺う。また、多目的広場と同一敷地内への整備となった場合、ヘリポートへの影響はないのか。

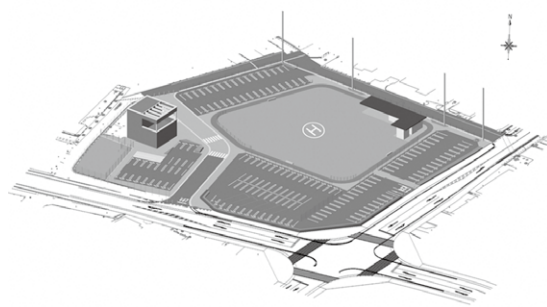
子ども・子育て課長 坂本成人

答 ワークショップ等で頂いた意見を様々反映させると、

建物の大きさと、それに伴った敷地の広さが必要となり、多目的広場への整備を検討する事となった。また、ヘリポートへの影響については、影響が出ない位置への配置となる。

その他の質問

- 市役所職員の職場環境の充実について
- 山梨市駅南の市有地開発について
- デジタル等を活用した地域活性化の取組みについて
- ふるさと納税に於ける富士吉田市との連携協定について
- 公営住宅を活用した子育て世帯に対する住宅支援について
- 果樹栽培者への農業機械購入支援について



※これはイメージ図です。

▲旧市役所跡地整備イメージ図

一般質問



木内健司 議員

公明党

問

災害用備蓄品について

災害時に、赤ちゃんをお持ちの母さんが避難を躊躇う事がないよう、乳児用段ボールベッドを災害用備蓄品に加える事、また、市が備蓄しているアルファ化米を防災意識の啓発のため試食用として市民に配布することについて見解を伺う。

市長 高木晴雄

答

乳児用段ボールベッドについて、今後の備蓄に向けた検討を行い、包括的な備蓄品の整備を進める。また、アルファ化米については、本市が備蓄している物は炊き出しを想定した50食梱包タイプであり、1人1人への配布は難しいが、防災訓練などを通じて活用している。災害用備蓄品には、平時の食事として代用できる分量の物もあり、生活困窮者対策や子ども食堂における活用を検討する。

問

児童生徒の安全安心について

本市の小中学校における不審者

防止対策の現状と、高止まり状態にある不登校の原因ともなるいじめ防止対策について、いじめゼロ、不登校ゼロを目指し、市が主体となつて対策に取り組むべきと考えが如何か。

教育長 竹川和彦

答

全ての小中学校において、門扉を閉じた状態を維持しているが、来校者等への配慮から未施錠で運用されている。現在、市内小中学校でインターホンや防犯カメラの設置は行われていないが、引き続きそれらの設置も含め検討して行く。また、いじめ対策についてもいじめゼロ、不登校ゼロを目指すとともに、教員の多忙化などの諸課題に対し、先進事例を検証、研究する中で取り組んでいく。

その他の質問

○デマンド型交通について



▲乳児用段ボールベッド



土屋裕紀 議員

新翔会

問

ふるさと納税の活用について

昨年単年度で65億円もの寄附金は、本市の財政においてあまりにも大きな金額であるが、市民のほとんどがその活用実績を知らない現状は大きな反省点だと思う。広く市民、地域、学校、各種団体等からも意見を伺い、有意義な活用をして頂きたいが今後の活用について市の考えを伺う。

市長 高木晴雄

答

本市独自の事業など、思い切った施策展開を行っている。重要な財源であることを広く周知し、どのような事業や活動に役立てられているのかを具体的に解りやすく見える化することに努める。

問

消防団詰所と報酬・活動補助について

詰所について、整備計画の遅延が心配されるが、今後の展望と正式に取り組むことを示して頂きたい。団員報酬については、まだ検討の余地があり、分団活動なども

地域の協力で取り進む現状に対し、活動補助金の拡充を検討頂きたいが市の見解を伺う。

防災危機管理課長 星野正裕

答

詰所については、用地確保など諸課題を地域の方と調整しながら進めて参りたい。活動補助については、処遇改善、負担軽減、やりがいのある活動の実現に向けて各方面から対策に取り組んでいる。様々な費用の在り方について、改めて支援を検討し、消防団活動の健全な運営・支援に努める。

その他の質問

○上下水道料金と事業の現況と今後について

○日川地区内の幹線道路3路線の諸課題について

○地域と連携した総合的な水防体制について



▲消防団詰所



清水和美 議員

赤松の会

問 日本カーボン株式会社山梨工場跡地の利活用について

当跡地の利活用について、参考とされている先進地事例を伺う。

市長 高木晴雄

答 これまで「大和市文化創造拠点シリウス」、「新大阪茨木市文化・子育て複合施設オニクル」、「島田市 KADODE O OIGAWA」、「ゆいの森あらかわ」、及び「江戸川区角野栄子児童文学館」等の視察を精力的に行ってきた。これらの施設は、教育・文教エリアにおける施設整備、農業等の地域資源を活かした施設整備として、地域住民はもとより、多くの来訪者を産む成功事例であるが、本市と人口規模等は異なるため、そのまま本市に当てはめるのではなく、各施設に多くの利用者が集い、地域を誇りに思う拠点となっている点で参考にする。

問 放置される空き家など地域課題に対する取組について

空き家等に関する相談が寄せられた件数と回答した主な内容について伺う。

地域資源開発課長 岡田佳治

答

令和6年度の相談件数は35件であり、このうち近隣住民から32件であった。本市では、他市に先駆け、昨年度から山梨県宅地建物取引業協会を「空家等管理活用支援法人」に指定し、所有者等の意向を聞き、空き家もたらす近隣への影響等にご理解いただき、専門的なアドバイスを行い、問題の解決が図れるよう取り組みを始めたところである。

その他の質問

○民生委員児童委員一斉改選に向けた本市における見直しについて
○市ホームページの効果的な発信について



岩崎友江 議員

やまなし未来の会

問 雁坂トンネルを活用した観光施策について

①道路公社によると、長期通行止めなど減少の要因はなかったが、通行量が減少したとのことである。市として、交通量の減少をどのように分析しているのか伺う。②道路公社は、通行量の増加に繋げるとコメントしているが、市として雁坂トンネル利用促進に向けた具体的な観光施策を講じる考えはあるのか伺う。

市長 高木晴雄

答

①人との接触が少ない活動として注目されたバイクツーリングの利用は増加傾向であると分析している。令和9年度に予定されている大滝トンネルの開通を見据え、ターゲット層を呼び込む施策が重要である。②冒険家・風間氏の北極点など到達の際に使用したバイクを展示した際は大変好評であった。バイクツーリング愛好家に向けたバイク展示を再び検討していく。

問 地域住民のコミュニティの低下の問題について

①現状では、区を自由に脱退することができないため、これを防がなければならぬが如何か。②区を脱退しても、ゴミ停留所の利用をしているが、市としてのルール作りが必要と思われるが如何か。

総務課長 大沢和洋

答

①区長会や地域の声を聴く中で、区・自治会への加入活動参加へのサポート等の取り組みを検討していく。②区・自治会は任意団体であるため、市は強制できない。しかし、現状を踏まえるとルール作りも必要であると認識している。今後、実効性のあるルール作りを調査研究していく。

その他の質問

○投票所の見直しに伴う移動期日前投票所の開設について
○選挙用のポスター掲示場の設置場所の変更について



▲ゴミ停留所

一般質問



萩原弥香 議員

公明党

問 本市における「手話言語条例」の制定について

2011年8月、障害者基本法改正、手話を含む言語等の意思疎通のための手段の選択の機会の確保が定められた。制定を重要視し、幾度も要望書は提出され切望している。速やかにご英断頂きたい。

市長 高木晴雄

答 本市では、手話が言語であるという認識のもと、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指し、手話の普及と理解促進に取組んでおり、手話通訳者等派遣・手話奉仕員養成講座等を実施している。今年度中の制定を目指し準備を進めている。

問 ふるさと納税に「木育」の取組みを

森林環境譲与税活用の保育園での「木育」の機会を創出いただいた。本市は8割を占める森林を有している。市木材等を活用し市内木工所に木のおもちゃを製作いただき、ふるさと納税返礼品に扱い、本市の「木育」への姿勢等

PRを提案したい。この取組みができた場合、本市で誕生の全ての赤ちゃんへお祝いに贈りたいがいかがか。

ふるさと納税ブランディング課長 武川功

答 本市面積8割の森林から生まれる木材を活用することで、地域の自然環境への理解を深め、持続可能な社会づくりにも貢献できると考える。また、市内木工所の技術を活かした「木のおもちゃ」製作は地元産業振興にも繋がる取組みとなる。木工所と連携し、「木育」理解を深めていた

ながら製品開発を目指すと共に、ふるさと納税を通して全国発信できるよう検討する。「木のおもちゃ」を贈る事業は、先進自治体取組みを参考に調査研究する。

〈その他の質問〉

○耐震シエルト等設置支援について

○学校巡回公演事業について



藤巻豊彦 議員

至誠会

問 市職員に対する市長の考え方について

①令和3年度から令和6年度までの職員の中途退職者数と市長就任前の平成25年度から平成28年度までの中途退職者数がどれくらいか。②ここ数年でメンタルヘルス不調休務者数がどれくらいになっているか、また、その数についてどのように分析し対策を講じているのか。③市長はどのような姿勢で市職員と向き合っているのか。

市長 高木晴雄

答 ①中途退職者については、令和3年度から令和6年度までが38人であり、平成25年度から平成28年度までが29人となっている。中途退職の理由としては、民間企業や他の自治体への転職、婚姻、転居、海外留学、一身上の都合となっており、就任前と比較して増加した理由を分析することは正しくない。②メンタルヘルス不調休務者は、令和4年度が12人、令和5年度が7人、令和6年度が12人であり、直近の状況で

は、6月1日に職場復帰支援プランを経て5人が職場復帰した。現在は6人が休務中である。「山梨市職員心の健康づくり計画」に基づき、計画的かつ継続的に対応している。また、職場復帰に際しては、円滑に復帰できるよう「山梨市職員職場復帰支援プログラム実施要領」に基づき、職場復帰支援プランを策定し、計画的な支援を実施している。③就任以来、大声を出して注意したり、度を過ぎた指導を行ったことは1度もない。市民サービスの低下、本市発展の阻害要因を招きそうな時は注意をする。度を過ぎる事案はしっかりと指導する。650人の職員全てに平等である。

〈その他の質問〉

○カーブミラーの維持管理について

○山梨市駅前広場における喫煙スペースの設置について



▲山梨市役所本庁舎



根津和博 議員

新しい風

問

観光客を見据えた山梨市駅南北自由通路の活用について

①レンタサイクルの利用実績と今後の活用について伺う。②電動キックボードや電動バイクの設置を要望するが市の考えを伺う。③山梨市駅に大型コインロッカーの設置を要望するが市の考えを伺う。④山梨市駅南北自由通路に展望案内板の設置を要望するが市の考えを伺う。⑤山梨市駅南北自由通路を利用した駅マルシェなど今後の活用について伺う。

観光課長 武川淑人

答

①レンタサイクルは現在9台あり、特に春と秋の観光シーズンに多く利用されている。コロナ禍で一時減少したが、昨年度は約700人まで回復し、今後も増車を検討し事業を推進していく。②電動キックボードや電動バイクの導入については、新たな移動手段として注目されているが、利用者ニーズや安全性、費用対効果を調査・分析し、導入の可否を研究していく。③大型コイン

ロッカーについては、外国人観光客からの要望を受け、今年3月に大型対応ロッカーを2台から5台に増設した。今後も利用状況を踏まえ、JRと協議し必要性を判断していく。④展望案内板については、ガラス張りの通路からの景観を活かすため、設置の必要性を確認し、JR等と検討する。⑤南北自由通路は安全で快適な歩行者専用道路であり、マルシェなどの催しは夢の実広場や街の駅の利用を推奨している。

その他の質問

○災害時における公共施設の停電対策について
○山梨市の鳥獣害対策について



▲山梨市駅のロッカー



天野有紀 議員

つながる未来会

問

不登校児童生徒への支援について

山梨県の不登校児童生徒数が2261人となっているが、本市の不登校支援について伺う。

市長 高木晴雄

答

不登校対策検討会議・校内支援教室・通級指導教室の設置、市教育支援センターとの連携、スクールカウンセラーの活用、スクールソーシャルワーカー等による各種機関との連携を行っている。

問

フリースクールの現状と助成制度について

近年、フリースクールの存在意義も高まり、大きな支援、希望の光、学びの場となっているが、フリースクールへの助成制度について伺う。

学校教育課長 久保川貴教

答

フリースクールについては、指導要録上の出席扱いの他に、利用料助成制度が令和7年度より創設されスタートしている。適時・適切な支援のため、民

間事業者との望ましい連携方法、情報共有の方法等についても、研究・検討していく。

問 学童保育の充実について

子どもは遊びの中で様々な経験をし、学びを得ている。学童保育の場が管理に偏らず、自由に遊べる場となるよう、市のマネジメントに大いに期待したい。指定管理者制度導入の委託業者選定の観点について伺う。

子ども・子育て支援課長 坂本成人

答

選定にあたり、適切な資格や経験を持つスタッフ体制、安全管理の方針や研修・事故発生時の対応策の整備、多様な遊びのプログラムが提案・実践できることを重視していく。共働き家庭の増加により、ニーズは依然高い。保護者の育児と仕事の両立を支援し、子ども達にとって居心地よく、安全・安心に過ごせる場であるよう努めていく。



一般質問



糠信 平 議員

日本共産党

問 生活保護受給者の車の使用について

厚労省から自治体へ通知されたが、車の保有を理由に生活保護申請を躊躇するような事例があるか、また、申請者への説明等は行われたか伺う。

福祉課長 飯塚雄志

答 生活保護の申請は車の保有の有無で決まる。保有の有無は障害の有無等で判断され、認められない場合は売却の必要もある。この為、車を保有していると生活保護が受けられないと認識している方も多く、決定後の車の処分を心配して申請を躊躇される事例はあったが、その都度、適切に申請されるよう対応している。今回の使用目的の拡大も「生活保護のしおり」を用いて丁寧に説明していく。

問 補聴器購入費助成制度について

県の事業開始に伴い変更された市の制度だが、さらなる制度の充

実の考えを伺うとともに、今改変で後退した部分がないのか伺う。

福祉課長 飯塚雄志

答 本市独自の「軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業」は、18歳以上、所得要件あり、1/2助成で、上限3万円。県の「山梨県認知機能低下予防補聴器装用推進事業」は、65歳以上、所得要件あり、市への1/2補助、上限25,000円。対象者に5万円の助成可能。県事業の導入で対象者が拡大し、市独自制度と併せて支援に後退はない。

その他の質問
 ○戦後80年における平和への啓発活動について
 ○介護事業所への支援などについて
 ○生理用品無償配布について
 ○期間限定でない小中学校給食費完全無償化について



長沼和人 議員

笑顔やまなし

問 本市の部活動地域展開について

子ども達が違和感なく活動でき、多様なニーズや持続可能となる体制を築いてもらいたい。

①現在の進捗状況と課題について伺う。②教員の兼職兼業について伺う。

市長 高木晴雄

答 ①令和5年度より山梨南運動部活動で地域移行・地域展開の取り組みを進めてきた。今後、「地域ぐるみで子ども達を育てる」環境づくりを目指し、学校や関係団体による「山梨市中学校部活動地域展開推進協議会」を立ち上げ、部活動の地域展開に向けた共通認識の深化を図る。また、指導者の確保や地域の方々の協力体制の強化に向けた取り組みを検討し、持続可能な体制を整えていく。②教員の兼職兼業については、働き方改革など教員のワークライフバランスに考慮し柔軟に対応していく。

問 教員の働き方改革について
 過重な業務負担や休日出勤、勤務時間の長さは、教員の心身の健康や授業の質に深刻な影響がある。

①負担軽減の取り組みについて伺う。②在校等時間の縮減について伺う。

学校教育課長 久保川貴教

答 ①業務の一部を担う「スクール・サポートスタッフ」を7名配置、学校のDXのためのICTを活用した授業改善、ペーパーレス化、高速プリンターの導入等業務の効率化により、子ども達の学力向上に加えて、業務負担軽減、働き方改革にもつながっている。②在校等時間の縮減に向けた取り組みは、「業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定し改革に取り組む。働き方改革は教員が向き合っている子ども達にとっても重要な問題であり、今後も教員の負担軽減に努める。

その他の質問
 ○義務教育学校開設へ向けての取り組みについて



▲学校の教室の様子



島村雅美 議員

赤松の会

問

「改正戸籍法」について

「改正戸籍法」が令和7年5月26日に試行され、戸籍の氏名に振り仮名を記載する運用が始まった。

①5月26日以降に提出された出生届について、キラキラネームである時の対応と、その判断は誰がするのか伺う。②銀行口座との相違がある場合、年金の受給に影響があるのか伺う。

市長 高木晴雄

答

①基本的には、提出先の自治体で振り仮名を判断し、疑義が解消しない振り仮名は、管轄法務局が判断することとなる。②金融機関の口座名義の変更が必要な方は、日本年金機構から「氏名変更のお知らせ」が送付され、口座名義の変更手続きが必要となる。

問

義務教育学校について

山梨市に県内初となる義務教育学校が、令和7年度から試行的に導入されると伺った。

①本年度より試行的に導入され

たが、現在の状況と開設時期を伺う。②設置検討委員会での協議内容を伺う。

教育長 竹川和彦

答

①現在は、笛川小学校で基礎学力の定着と専門性の高い指導を目指し、笛川中学校との兼職教員による教科担任制度が始まっている。また、開設時期は令和8年度を目指している。②設置検討委員会では、校名、校歌、校舎等について協議を進め、校名は各家庭にアンケートを提示し決定していく、校歌はそれぞれの校歌を併存させ、9学年が歌える「学園歌」を制定していく。また校舎は笛川中学校に置くことを前提に検討を進めている。

その他の質問

○部活動の地域展開における指導者について

○石原なち子記念体育館の今後について



▲笛川中学校

議員表彰

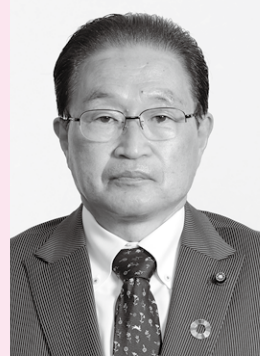
第101回全国市議会議長会定期総会において、永年勤続議員の表彰が行われました。本市では、特別表彰（25年以上）として、小野鈴枝前議員、一般表彰（15年以上）として、古屋弘和前議員が表彰されました。お二方の長年のご尽力に深く敬意を表します。

特別表彰（25年以上）



小野 鈴枝 前議員

一般表彰（15年以上）



古屋 弘和 前議員

委員会報告

総務常任委員会

付託議案

議案第57号
議案第58号
議案第59号
議案第63号

山梨市レンタルサイクル条例の一部を改正する条例について
令和7年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分
歳入に関する部分、歳出に関する部分の内
(2)総務費
令和7年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
山梨市し尿等処理下水道投入施設プラント機械・電気設備工事(継続)
請負契約について

総務常任委員会

◎藤巻 豊彦 ○岩崎 友江
清水 和美 土屋 裕紀
木内 健司 村田 浩

○議案第58号 令和7年度山梨市一般会計補正予算(第1号) 関係付託部分について

問 歳入 13款 繰入金 1項 基金繰入金のうち、財政調整基金繰入金について、ふるさと納税事業経費の補正額8億8,250万円余の財源として、その全額を財政調整基金から繰り入れることについて、ふるさと納税寄附金を原資とする『ふるさと輝き基金』との関連について伺いたい。

答 ふるさと納税寄附金の当該年度分については、一旦その全額を『ふるさと輝き基金』に積み立てたあと、翌年度において、寄附の目的に沿った事業の財源として充当することとしている。一方、ふるさと納税事業自体に掛かる、返礼品や事務費等の必要経費の財源としては、寄附金ではなく、一般財源を充てている。そうすることで、全国の皆様から頂いたふるさと納税寄附金を活用して実施することができた事業と

の棲み分けが図られるものと考えている。

問 歳出 2款 総務費 1項 総務管理費のうち、政策形成経費について、桜プロジェクトに係る業務委託について詳細を伺いたい。

答 本プロジェクトは、笛吹川フルーツ公園を核とした新たな観光エリアの創出に向けて、桜を植樹するための計画を策定するものである。市と県が主体となり、公園内はもとより、周辺街路沿いへの桜の植樹を想定しているため、民間の専門知識も活用し、場所や本数など、植樹のあり方について調査するものである。

問 歳出 2款 総務費 1項 総務管理費のうち、ふるさと納税事業経費に



▲総務常任委員会での審査の様子

ついて、本市にとって大変貴重な財源であるふるさと納税寄附額を継続して獲得するため、特に力を入れていくことについて伺いたい。

答 本市の主力返礼品である桃、ブドウについては、随時、JA等と連携し、作況や市況を確認する中で広くPRしていくよう努力している。また、市と事業者で昨年度に発足した、「山梨市ふるさと納税返礼品管理協議会」の活動を通じた、返礼品の品質安定化の推進と適切な取り扱いにより、更に本市の魅力発信できるよう、新設課として努力していきたい。

問 歳出 2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳管理費のうち、戸籍住民基本台帳管理経費について、法改正に伴う戸籍へのフリガナ記載について、本市における事務スケジュール等を確認したい。

答 現在、フリガナの確認通知書の発送に向けた準備を進めている。本市での発送は7月下旬を予定しており、通知書到着

後、フリガナに間違いがある場合には、来年5月25日までに、正しいフリガナを届け出たいただく必要がある。なお、届け出がない場合は、通知書に記載されたフリガナが戸籍に記載されることになるが、期日後であっても一度に限り、家庭裁判所の許可を得ずに変更することができる。

※現地調査として、山梨市レンタルサイクル条例に基づき、街の駅やまなしにおけるレンタルサイクルの貸し出し状況について、視察を行った。



▲街の駅やまなしレンタルサイクル視察の様子

建設経済常任委員会

付託議案

議案第56号 山梨市働く婦人の家設置及び管理条例の一部を改正する条例について
 議案第58号 令和7年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分
 議案第61号 (6)農林水産業費
 議案第62号 字の区域の変更について
 請願第2号 山梨市道の路線認定について
 最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める請願書

建設経済常任委員会

◎星野 洋 ○榎野 雅敏
 糠信 平 島村 雅美
 矢崎 和也 深沢 敏彦

※現地調査として、小原西地内の市道路線認定予定箇所、七日市場地内の日下部地区畑地帯総合整備事業に伴う字の区域変更予定箇所の視察を行った。

○議案第58号 令和7年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分について

問 歳出 6款 農林水産業費 1項 農業費における新規就農者育成総合対策事業について詳細を伺いたい。

答 国及び県の補助事業を活用し、認定新規就農者4人に対し、スピードスプレーヤー等の農業用機械購入のための補助金として交付するものである。

○議案第61号 字の区域の変更について

問 議案の内容について詳細を伺いたい。

答 県営畑地帯総合整備事業により農地の区画整理を行う際、隣接する赤道や水路の移設等も併せて行う場合があるが、そ

うした赤道等は字の境となつていることが多い。今回、日下部地区における畑地帯総合整備事業の区画整理においても、赤道等の一部移設により、土地の字を変更する

必要が生じたことから、議決を求めるものである。

要望事項として、農業用機械の購入補助事業について、今後の物価上昇の動向を注視しつつ、必要に応じて支援内容を拡充するよう、適宜見直しを行うこと、また、市内への企業誘致について、新たな雇用の創出や産業の振興、地域活性化など、企業の立地がもたらす効果は非常に大きいものであることから、引き続き、企業誘致に向け、取り組みを進めていただくことを要望する。



▲建設経済常任委員会での審査の様子



▲字の区域変更予定箇所視察の様子

教育民生常任委員会

付託議案

- 議案第54号 山梨市放課後児童クラブ設置及び管理条例について
- 議案第55号 山梨市立児童センター設置及び管理条例及び山梨市放課後児童健全育成条例の一部を改正する条例について
- 議案第58号 令和7年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分(3)民生費
- 議案第60号 令和7年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

教育民生常任委員会

- 根津 和博
- 萩原 弥香
- 向山 輝
- 遠山 雄二
- 長沼 和人
- 天野 有紀

○議案第55号 山梨市立児童センター設置及び管理条例及び山梨市放課後児童健全育成条例の一部を改正する条例について

問

児童クラブの所在において、小学校内という表記を無くした理由について伺いたい。

答

これまでは、山梨市放課後児童健全育成条例の中で、校内に児童クラブがあることを位置づけ表記していたが、新たに山梨市放課後児童クラブ設置及び管理条例を定めるため、公の施設として明確に位置付けられることから、表記が不要になるためである。

○議案第58号 令和7年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分について

問

歳出 3 款 民生費 1 項 社会福祉費のうち、福

祉総合システム就労選択支援創設に伴うシステム改修について、

システム改修の委託先が Y s k e i c o m を想定としているが、随意契約なのか、それとも入札を行って決定していくのか伺いたい。また、就労選択支援について、利用者は希望性であるのか伺いたい。

答

現行のシステムにおいて、住民情報システム等の情報がすべて連動しているため、いずれのシステムを管理、運用をしている Y s k e i c o m でなければ改修が難しいことから、随意契約についても考えている。就労選択支援について、令和7年10月以降、新規の就労継続支援B型利用者については、原則利用となり、就労継続支援A型は、令和9年4月以降の新規利用者が

原則利用となる。

○議案第60号 令和7年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

問

歳出 1 款 総務費 1 項 総務管理費のうち、子ども・子育て支援金制度の施行に向けたシステム整備について、後期高齢者医療制度として、月額200円を追加徴収することのことだが、これは全国で一律の金額であるのか。

答

加入している医療保険に對し、国で金額を決めているため、全国一律の金額になる。



▲教育民生常任委員会での審査の様子

議会活動日誌

6月

- ・令和7年6月定例会（6月2日～6月30日）
- ・第30回万葉うたまつりとホテル観賞会（13日）
- ・スーシティ市訪問団交流会（14日）
- ・議会運営委員会（27日）
- ・議員全員協議会（27日）



7月

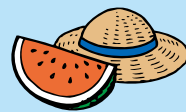
- ・第21回山梨市少年野球大会（5日）
- ・甲府市議会正副議長就任あいさつ（10日）
- ・春の観光地美化清掃（11日）
- ・議会運営委員会（22日）
- ・議員全員協議会（22日）
- ・議会だより編集委員会（22日）
- ・第66回笛吹川県下納涼花火大会（26日）
- ・山梨市夏をどりフェスティバル（26日）



8月

- ・新山梨環状道路整備促進期成同盟会総会（5日）
- ・山梨県市議会議長会議員合同研修会（前期）（6日）

- ・リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会（7日）
- ・西関東連絡道路整備促進期成同盟会総会（8日）
- ・議会運営委員会（12日）
- ・議員全員協議会（12日）
- ・笛吹川源流祭り（17日）
- ・令和7年9月定例会（8月18日～9月19日）
- ・山梨県高速道路整備促進期成同盟会通常総会（19日）
- ・都市計画マスタープラン策定委員会（20日）



議員活動報告

令和7年7月11日、道の駅花かげの郷まきおかにて、観光地美化清掃が行われました。

ベンチや柵のペンキ塗りを行い、観光地の景観維持活動に努めました。



▲観光地美化清掃の様子

9月定例会開催予定

- 8月18日(月) 本会議（開会）
- 9月2日(火) 本会議（代表質問）
- 3日(水) 本会議（一般質問）
- 4日(木) 常任委員会
- 8日(月) 決算特別委員会
- 9日(火) 決算特別委員会
- 10日(水) 決算特別委員会
- 19日(金) 本会議（閉会）

※全日程午前10時から開会予定
（決算特別委員会は、午前9時開会予定）

編集後記

新任期に入り初めての議会だよりを発行しました。6月議会では、議員それぞれの目線で、それぞれの思いを執行部に質問し、答弁をいただきました。議員は市民から選ばれた代表です。市民が住みやすいまち、様々な意味で豊かなまちになるよう、市政についての疑問や、提案などを広く深く質問することによって、本市がどんなまちになるのか、市民のために何をすべきかを明確にしていきます。まずは、その一端を議会だよりにてご覧下さい。

藤巻 豊彦

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

藤巻 豊彦
村田 浩
向山 輝
根津 和博
星野 洋
遠山 雄二

「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。

